

会員紹介 (当コーナーでは、JNSA で活躍されている会員の方に、リレー方式で自己紹介をしていただきます。)

NTTコムテクノロジー株式会社 門田 剛



JNSA会員の皆様、はじめましてNTTコムテクノロジー株式会社の門田剛と申します。今回、株式会社インターネットイニシアティブの鈴木さんよりご紹介いただきましたので、僭越ながら自己紹介させていただきます。

弊社NTTコムテクノロジーは、NTTコミュニケーションズグループの一員として、お客様企業の情報システムネットワークの成長を支えるための一連の業務を提供する総合エンジニアリング会社ですが、そんななか現在私はセキュリティオペレーション業務に従事しており、お客様システム環境に対するセキュリティ監視・運用のために日々格闘しております。

その私も学生時代に話が遡ると、ITとはほど遠い金属材料学を専攻しており、超伝導環境で利用される超合金を極低温(マイナス269℃!)で引っ張って破断させる実験をしていました。空気が冷えて液体化する現象を目の前で頻繁に見ていたのを、今となっては貴重な体験をしていたものだと感じています。そしてその研究そっちのけ(?)で学生時代にはまっていたのが、SunワークステーションのX Windowシステムが配備された"計算機室"(呼び方が古い…)で、それ以降こちらのIT魔空空間に取り込まれたままとなっています。当時は性善説にもとづいた自由なインターネットの世界に入り浸っていましたが、現在のどこ見ても脅威が…という世知辛い状況を見ると隔世の感があります。

さて、前職ではインターネット技術全般を活用したSI業務に従事していましたが、実はそのときに一度JNSAの活動に関わったことがあります。2002年度の相互接続WGにおいて、無線LAN相互接続実験に参加していました。その時は先輩の後ろについていくのが精一杯の状態でしたが、それから時を経て、2008年から再び現職にてJNSAの活動に参加することになって意識していることは、以前よりも主体性を持って関わることです。

現在JNSAでは主にISOG-JのWG2、WG4、WG5でお世話になっていますが、さまざまな年代やバックグラウンドを持っておられる方々と身近に接することができ、非常に刺激を受けています。業界全体のため、ひいては日本のためにとこだわりを持って活動されてる方々のそばで、微力ながらも貢献できることがあればと思っています。

最後に。スキーと風景写真撮影、旨い酒と肴をこよなく愛でていますが、今年子供が生まれたこともあって全て活動が停止気味になっています。将来、子供と海外スキーにでも行って、一緒に写真を撮ったり酒を飲むのを夢見ながら我慢しているところですので、最近つれないなと思ってる方々も、見捨てないで今後ともよろしく願います。

NTT データ先端技術株式会社 小林 稔



皆様、はじめまして。NTT データ先端技術株式会社の小林と申します。
前号の日本アイ・ビー・エム株式会社の梨和さんから、会員紹介のバトンタッチをされ、今回担当させていただくことになりました。

まず、簡単に私の経歴と業務の説明をさせていただきます。そもそも情報セキュリティに関心を持ったのは2000年に頻発した官公庁のWebサイト改ざんがきっかけでした。大学卒業を控え、ネットワークエンジニアを目指そうかと思っていた時期でしたが、このような業界もあるのかと大変興味を引かれました。

2001年に某ベンチャー系セキュリティ企業に入社し、主にIDSの検証や導入を行う部署に配属されました。その他にもセキュリティ診断や雑誌記事の執筆などを行っていました。

その後、2003年にNTT データ・セキュリティ株式会社に転職し、IDS/IPSの監視サービスを提供する部署に配属され、それ以来、同じ部署に所属しています。

現在の主な業務としては、監視サービスの運用を始め、導入提案、機器の検証、社内システム運用、顧客のトラブル対応、チームのとりまとめなどを行っています。ただ、年々、マネジメント的な業務が増えているのが悩ましいところです…。

会社は2011年7月1日に統合され、NTT データ先端技術株式会社となりましたが、業務内容やポジションは変わっていません。

JNSAには2010年4月より参加しており、主な活動としては、ISOG-JのWG2にて技術情報の交換に参加させていただいています。また、ISOG-Jでは、標的型攻撃の情報共有を目的としたWG5が最近立ち上がり、このWGにも参加させていただいています。

JNSAのような業界団体への参加は初めてなのですが、同じ業界で活躍されている他社のエンジニアの方々と意見交換ができたり、時にはハンズオン作業が行えるなど、非常に刺激的で貴重な場だと思っています。

今後も積極的に参加していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。